

製品名: MCM3AP マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82319**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000
分子量	218.4kDa

抗原情報

遺伝子名	MCM3AP
別名	GANP; SAC3; MAP80; PNRIID
遺伝子 ID	8888.0
SwissProt ID	O60318
免疫原	大腸菌で発現したヒト MCM3AP (AA: 293-442) の精製組み換え断片。

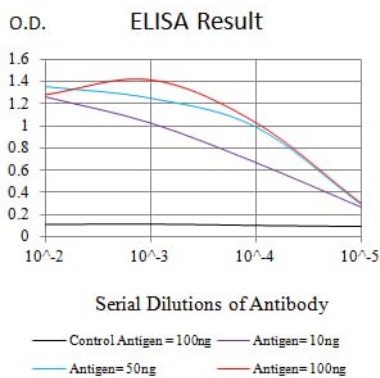
背景

ミニ染色体維持タンパク質3 (MCM3) は、DNA複製の開始に必須のMCMタンパク質の1つです。この遺伝子によってコードされるタンパク質はMCM3結合タンパク質です。このタンパク質はリン酸化依存性DNAプライマーゼ活性を持つことが報告されてお

り、抗原免疫誘導性胚中心において上方制御されていました。このタンパク質は、MCM3 をアセチル化し、DNA 複製に役割を果たすアセチルトランスフェラーゼであることが実証されています。MCM3 の核局在シグナルの変異誘発は、このタンパク質と MCM3 の結合に影響を与えることから、このタンパク質が MCM3 の核局在を促進する可能性も示唆されています。この遺伝子は、脳または神経組織で発現しています。軽度知的障害患者において、保存されたグルタミン酸の代わりに 915 番目のアミノ酸残基にリジンをコードする対立遺伝子変異体が同定されています。

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)